

choko

我が家にちょこがやってきたのは、昨年の夏休みの終わりのことでした。

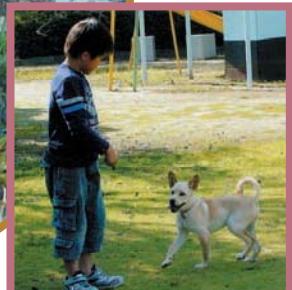
動物が大好きで、いつか犬を飼いたいと思っていたのですが子どもが小さい今こそ子どもたちが犬とたくさんふれ合えるチャンスかもしれない!と考え「夏休みワンコ計画」をたてました

ちょうど子どもが学校で動物愛護センターのお話を聞いていたこともあり「飼うなら絶対そういう子にしよう!!」と子どもたちと話し合いました。ホームページで「えひめイヌ・ネコの会」を知り、毎日のように譲渡犬のページを開いては、かわいいワンちゃんの写真を見て新しい家族を迎える日を心待ちしていました。

譲渡会の帰り、小さな犬をみんなで交代に抱っこしながら家に連れて帰った日のことは、忘れられない家族の思い出になりました。

はじめの計画では、予防接種が終わったら外で飼うことになっていたのですが、実際生活を始める一人(一匹?)ぼっちで外に出すなんて考えられなくなってしまい、今ではすっかりお部屋犬です。

子どもたちが留守の間は私にぴったりくっついておとなしくしているのですが、子どもたちが帰ってきて ワイワイはしゃぎだすと自分も仲間に入りなきゃ!! とたまらない様子で輪の中に入って大興奮!! 走り回っています。はしゃぎ過ぎてよく叱られているようです。(笑)



子どもたちは、ちょこを兄妹のように思っているようで、特に末の娘とは おままごとの相手になったり「これ出来る?まだ小さいからムリか…」(大きくなつても犬は折り紙折れないと思うけど…) 普通に話したり、ケンカしたり、お互いもたれ合って寝ついていたり…ほほえましい姿に心が和みます。

一番のお仕事は子どものお迎えで、ちょこを連れて迎えに行くとみんなニコニコ笑顔になります。

しつけやお世話のことでは戸惑うことが多く、避妊手術についても、いざとなると健康な体にメスを入れる決心ができず、イヌ・ネコの会の方に相談にのっていただき背中をおしてもらうことができました。手術当日、子どもは「学校休んで病院について行く!」と頑張っていましたが、なんとか言い聞かせお守りを預かつて病院に向かいました。そして、無事に退院してきたちょこを囲んでみんなで眠りました。

ちょこが来てもうすぐ1年。たった1年間にたくさんの思い出をプレゼントしてくれました。

これからもきっとたくさんの思い出をプレゼントしてくれるでしょう。私たちも ちょこが「この家にきてよかった!」と思ってくれるようにずっと見守っていきたいと思います。

